



ふ れ あ い
市長室



南あわじ市長 守本 憲弘

感染予防と経済活動回復の両立とともに
自然災害への備えを～南あわじ Style～

国の緊急事態宣言解除から、1カ月が経過しました。人出が少しずつ回復傾向にあることが報道され、私たちの周りでも、休校解除による児童・生徒の通学風景など日常が徐々に戻りつつあることを実感します。

一方で、自粛に伴う経済活動の一時的な低下が及ぼした影響は計り知れません。消費の低下による価格の低迷に農畜水産業も苦しめられています。また、本来であれば、春先の歓送迎会シーズンやゴールデンウィークの時期に大いにぎわはずであった飲食業、宿泊・観光業も大きな打撃を受けています。

本市においては、今回の新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急対策事業として、市議会にもご理解いただき、5月は「特別定額給付金を一刻も早く皆さまの元へ！」を最大の課題として全力で取り組みました。その結果、6月半ばには約98%の方々へ約46億円の給付を完了できました。6月からは、市民の皆さまが利用される場合の宿泊・飲食・テイクアウト等の料金が最大50%オフとなる「安全・安心な飲食宿泊キャッシュバック事業」に取り組んでいます。6月半ばの時点で、市内170店舗以上にご参加いただき、すでに多くの方にご利用いただいています。この事業では、

地元食材の地産地消を促進し、安全・安心の食材を生産いただいている多くの生産者の方々に好影響をお届けすることも目標にしています。また、利用者の方々への検温のお願いや、席と席の間隔をとること、手指の消毒をお願いすることなどの感染予防も含めた形、「南あわじStyle」の構築をめざしています。期間は7月末までとしていますので、市民の皆さまには、ぜひご利用いただきたいと思ひます。

ほかにも、国の持続化給付金等の対象とならなかった方のうち、収入が一定の割合以上の減少となる農畜水産業も含めた事業者の方々への事業持続支援金の給付にも取り組みます。今月号の広報3頁に案内を掲載していますので、ご参照ください。さらに、生活に必須な水道料金については、6月請求分から3カ月間、基本料金の無料化に取り組んでいます。引き続き、国や県とも十分な連携を図りながら、市民の皆さまの安心・安全につながるよう施策を執行してまいります。

西日本も梅雨入りしました。大雨への備えを忘れてはなりません。自宅周辺の危険箇所や避難先、避難経路の確認をお願いいたします。市ホームページにも避難所や防災ハザードマップを掲載していますので、ぜひご確認ください。ご覧になれない方は、危機管理課（☎43-5203）までお問合せください。また、避難時においても新型コロナウイルス感染症への対応が必要となります。本市では、懸念される避難所での感染拡大を防ぐため、避難所運営に最大限の備えを行っているところです。

市民の皆さまには、日常生活の回復と感染予防、さらに大雨など自然災害への備えに同時に取り組まなければならない難しい時期ではありますが、市としましても、様々な情報をできるだけわかりやすく、皆さまにお伝えしてまいります。引き続きよろしくお申しあげます。

対面授業の再開について

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い発令されていた緊急事態宣言が解除されました。本学も5月7日よりオンラインで授業を開講していましたが、6月22日より対面授業の一部を開始することにしました。学生、教職員を含めたキャンパスに入られる方々へ可能な限り感染リスクを低減させ安全な授業環境を提供するため、講義室のレイアウト変更など、感染リスクの低減等の対策を考慮した開講科目としています。

3月末より南あわじ市内に在住している新入生も多数いますが、対面授業開始に伴い実家から下宿先である南あわじ市へ入居し、新生活を開始する学生もいます。これから、地域の皆さまにお世話になることが多々あるかと思ひますので、ご指導のほどよろしくお願ひします。



オープンキャンパス開催 (予定)

本年はご来場の皆さまの健康と安全を守るため、規模を縮小して開催します。

日時 7月12日(日) 午後1時～3時30分
内容 施設見学、個別相談、AO面接ほか
申込み・問合せ (要申込)

同大南あわじ志知キャンパス事務室 ☎42-4700
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イベントの中止または、内容の変更をする場合があります

市立保育所など14施設の園児らへポン菓子とお絵かき帳の寄贈がありました。ポン菓子は、ポン菓子新ちゃん(湊)がボランティアらと作ったもの。「ポン菓子のようにコロナウイルスを吹き飛ばして、負けずに頑張ってほしい」との思いが込められており、全園児分となる1151袋を寄贈いただきました。

市立保育所などの園児らへ
ポン菓子とお絵かき帳の寄贈

お絵かき帳は、株式会社奥井印刷(賀集)が自社で作製したもの。同社の新人研修で、社員がデザインや印刷、製本方法を学びながら作製した250冊を「保育所などで役立ててほしい」と寄贈いただきました。寄贈品は、6月2日に園児らに届けられ、受け取った子どもたちはうれしそうに笑顔を見せました。



ポン菓子とお絵かき帳を受け取った喜ぶ神代保育所の園児ら



コンピュータ室で授業を受ける福良小学校の児童ら

市内小中学校
6月1日から授業再開

新型コロナウイルスの感染予防のため臨時休業となっていた市内小中学校が、6月1日から再開しました。福良小学校では、人数の多い3年生・4年生が、空間が広く、エアコンのある特別教室を活用。3密や暑さ対策にも配慮して授業を行っています。また、当面の間、児童らが行っていた給食の配膳は教職員が行い、放課後に教室やトイレ、手

洗い場の消毒を行うなど、感染予防に努めています。児童らは「久しぶりに友達に会えてうれしい」「休み時間にみんなでサッカーができて楽しかった」と学校の再開を喜んでいました。山口博道校長は「長い期間休んでいた児童らが、元の学校のリズムに戻り、心身ともに健康に過ごせるよう考えていきます」と話しました。

～歩いて暮らせるまちづくり～

「どこでも市役所プロジェクト」第2弾 (7月～)

すぐそば☆安心まどぐち

■地区公民館に高齢者の「出張相談窓口」を開設します

高齢者の在宅生活での心配ごとの相談を、お近くの地区公民館でできるよう、毎月、在宅介護支援センターの出張相談窓口を開設します。7月の開設は右表の通りです。お気軽にご相談ください。

☎地域包括支援センター ☎43-5237

■市民交流センター窓口から市役所担当者につながります

市役所に行かなくても、窓口手続きの書類や、顔を見ながら相談ができる、ビデオ通話の実証実験を始めます。広田と阿万の市民交流センターに設置しますので、ぜひご利用ください。

☎市民協働課 ☎43-5244



7月の高齢者の出張相談窓口

日程	開催場所
3日(金)	広田地区公民館
8日(水)	松帆地区公民館
15日(水)	榎列公民館
31日(金)	賀集地区公民館

※受付時間は午前10時～午後4時まで。なお、8月は倭文、湊、八木、北阿万地区で開設します。日程は広報8月号でお知らせします